

令和3年度環境あきたエコ活動助成金交付団体一覧

No.	新規 継続	団体名	事業名	事業の概要
1	新	ときめき工房・ねま〜る (能代市)	「親子、3世代で学んで行動しよう!地球温暖化を防ぐ暮らし方」夏・冬セミナー	親子、3世代で1年を通じて地球温暖化防止、SDGsなど環境保全について学ぶため、座学と実践を組み合わせ夏休み・冬休みの自由研究の位置づけて実施する。 ※夏のワークショップはzoomで東京の講師とつなぎ、ワクチン接種後の冬は東京と札幌から講師を招きセミナーを実施する。
2	継	おのばホテル会(秋田市)	ホテルの学校づくり(Ⅲ)～室内ビオトープ編～	ホテル繁殖のため幼虫放流など試みているが成果が乏しくホテルの減少が続いており、さらに初出が10年前に比べて20日ほど早くなっていることから、猛暑や豪雨によって生息環境の変化が影響ではないかと考えられるため、生息地を室内に移して繁殖を促すことで、「ホテルの里」復活を目指す。
3	継	NPO法人秋田水生生物保全協会(秋田市)	八郎湖流入河川・馬場目川の魚や水生昆虫を調べよう	八郎湖の最大流入河川である馬場目川にすむ魚を、自分の手でとり、じっくり観察し、そして魚や水生昆虫など実際にとれた生き物の写真や生態を小冊子にまとめ配布することを通じて、八郎湖の環境保全の意義や重要性について理解を深める。
4	継	NPO法人秋田パドラーズ(秋田市)	プラスチックごみ減量雄物川河口海岸線クリーンアップと啓発事業(パート3)	毎年、雄物川クリーンアップを実施することで、世界的に問題になっているプラスチックごみやマイクロプラスチックを、ごみ拾いを通して知ってもらい、発表会でごみ減量、ポイ捨てや不法投棄の無い社会作りに繋げる。
5	継	特定非営利活動法人草木谷を守る会(湯上市)	谷津田再生プロジェクト「田んぼの楽校」	耕作放棄され荒廃した「草木谷」(谷津田)において、周辺環境に配慮した無農薬、無化学肥料での米づくり(餅米)を昔ながらの手作業で取り組むとともに、周辺の自然散策・生きもの観察を通して、生物多様性や自然の大切さに気付き尊重する心を育む。
6	継	三又部落自治会(横手市)	野生動物との調和・共生の里づくり(サンソンプロジェクトⅢ)事業	集落人口や世帯数の減少により耕作放棄地の増加が加速し、これまで生息していなかったイノシシ等の被害や目撃が多くあるため、荒地対策として、植樹(大島桜)と監視カメラによる野生生物調査、学習会等の教育活動に取り組み、生活域と野生動物とが調和・共生した山村集落づくりと住環境の向上を図る。
7	継	横堀地域づくり協議会(湯沢市)	役内川の桜並木環境整備事業	国道108号線、役内川の桜並木周辺環境整備により桜の樹勢を更に強靱なものとし、桜の折れた枝、傷んだ枝をチップ化して、肥料として再利用し、チップ有効利用の研究を行うほか、エコ活動を広くPRし、市民にエコ活動の大切さを認識するとともに、秋田県の南の玄関口として好印象で県に入れるようする。